

平成23年度第4回教職員安全衛生委員会議事録

日時：平成23年11月9日（水）

時間：15:30～16:30

場所：教育委員会室

出席委員：10名（森、小林、角谷、加藤（智）、原田、久保、竹田、古橋、田中、
加藤（真））

1 協議事項

- (1) 「名古屋市教職員メンタルヘルス計画（仮称）」について
⇒ 原案「協議資料1」了承

2 報告事項

- (1) 平成23年度教職員健康診断（中間報告）について

⇒ 原案「報告資料1」了承

- (2) 平成23年度職場巡視について

⇒ 原案「報告資料2」了承

3 その他

○ストレスと健康に関する調査について

回収率、スケジュール等について説明。

○VDT業務検診について

人数、スケジュール等について説明。

○冬季に実施する予防教室等について

予防教室、30歳グリーン教室、58歳ナイスミドル教室について実施内容、
スケジュール等について説明。

○小林産業医より、今年度ここまでを振り返って

・今年度ここまで在職中の死亡者は4名。経過は個別に色々とあるが、健康管理上の問題からというものについては、今後の課題としたい。

・休職者の動向としては、メンタルヘルス不調を原因とするものは例年並みに推移している。

・現在、今年度の健診結果を踏まえ、管理面接を行っている。以前は体の健康面での面接が多くかったが、今はうつなどが背景にあるような人が多く、心の健康に問題を抱えている人にしっかりアプローチできていると思う。

・血糖値や血圧など生活習慣病に関わる項目で数値が悪く、受診の必要がある人が、実際にはあまり受診していないようである。職場でそういう人がいたら受診を勧めてほしい。個人の生活習慣は職場環境と密接に関わっているため、職場の健康意識の醸成ということが重要な課題になってくる。

[質 疑 等]

Q. これまでもメンタルヘルス計画について何度も話題が出ているが、やはり1次予防のところを重点的に考えてほしい。“メンタルヘルスに関する知識等の情報提供や検証”とあるが、具体的な方策として考えているものがあれば教えてほしい。

A. メンタルヘルスに関するコラムや相談事業などを掲載している安全衛生だよりを毎月全校にメール配信しているが、あまり読まれていないという話を聞いている。より多くの人に読んでもらえるよう、例えば学校の先生方が生徒に配るプリントのような、読みやすく目にとまりやすい紙面の工夫を心がけたい。また、ストレスチェックの結果返却時に分室の相談事業の案内を同封しているが、これも目にとまりやすいよう紙面の工夫を考えている。

その他、衛生講話でこの時期にいくつかの学校に行かせていただいているが、そういうった折にも少し時間をいただいて係の事業のPRをしたいと思っている。

これらの効果を検証するため、例えば学校の先生方の中から無作為に抽出してアンケートを実施し、認知度を調査するといったことができないかと考えている。

要望 安全衛生だよりは、1次予防の段階で非常に有用なものだと思う。多くの人に読んでもらえるよう学校での回覧方法等もよく検討してほしい。

しかし、せっかく充実した内容を載せても、不安を抱えているような人は読むし、そうでない人は全然読まないというのが実態だと思う。今の自分の心の状態を簡単にチェックできるフローチャートのようなものがあると良いのではないか。不調に陥ってしまう人には、ある程度共通する特徴があると思う。それをフローチャートに落とし込んで、各自で自分の心の状態をチェックできるようにすると早期対応につながると思う。

要望 分室等をメンタルヘルスに関する相談窓口として案内するとなかなか利用しにくいのではないか。不調気味でも、周りの人には自分は不調ではないと強がってしまう人が多いと思う。健康全般に関する相談窓口であれば周りの目を気にせずに利用できるし、そこから心に関する相談につなげていけると思う。

Q. 2次予防のところにある“教育委員会からの支援”や“学校サポート体制の整備”的具体的な内容は。

A. 総務局では復職予定者のいる所属の係長を集めて、臨床心理士等によるマンツーマンに近い少人数での研修を行っている。教育委員会でも夏季休業中に管理監督者を対象とした研修を行っているが、総務局にならって少人数で集まって、専門的・具体的な知識を提供したり、気軽に相談できる専門家がごく身近にいるということを感じてもらえるようなものもいいかも知れないと考えている。

要望 不安を抱えていても、校長などにはなかなか相談しづらいのではないかと思う。管理職にそういった相談をすると、自分がマイナス評価を受けてしまうのではないかと思って、相談したくても思いとどまってしまう人もいると思う。

校長の立場としては、職員が気軽に相談できる第3者的な立場の人がいてほしい。予算等の都合もあると思うが、例えば臨床心理士や保健師が学校に来て相談相手になってくれたりするとありがたい。

A. その都度学校に臨床心理士等を派遣するというのは難しいかもしれないが、分室の方へ遠慮なく相談をもちかけてほしい。

要望 3次予防で“復職支援非常勤講師の活用の検討”とあるが、事務職員は小・中学校だと基本的に各校1人か2人しかいないため、復職すれば10割仕事をしなければならない。教員だけでなく事務職員についても支援を検討してほしい。

Q. 復職準備登校の制度を利用した復職予定者は、職員室の事務の手伝い等をしているが、教員の場合にそれで復職準備となるのか。事務職員としてもどのように関わればよいのか分からず戸惑ってしまうので、対応についてのQ&Aのようなものがほしい。

A. 教員の場合でも、まずは職場の雰囲気になれることが大事だと思うのでそのようにしている。

(小林産業医より)

復職準備登校制度導入後は、導入以前に比べて確実に効果はあがっている。制度のプロセスで問題があれば、それは個別に対応していく。

Q. 計画目標が休職者数等を“減少させる”という表現になっているが、“なくす”ところまではいかないのか。

(小林産業医より)

医療の立場からすると、目標が偏り過ぎているように思う。休職者数等の減少は結果としてついてくるものであり、このような目標を掲げると、本当に休みが必要な人が休みにくくなったり、休んだ人が汚名を着せられてしまう恐れがある。“風通しの良い職場づくり”などもっと広い視点で目標を考えてみてはどうか。

要望 学校では本庁と違い定時退庁日というものがない。少しでもそういうものがあれば意識も変わってくると思う。

Q. 今年の4月に愛知県でパワーハラスメントに関する指針が出ているが、学校にはその関連の通知等が来ていない。どのような状況か。

A. 愛知県立の学校に通知が出されているので、名古屋市立の学校には送られていない。

Q. 名古屋市は通知を出さないのか。

A. 検討する。

要望 今年度「睡眠と健康」というテーマで衛生講話を実施していただいたが、“毎日規則正しい生活を送りましょう”とか“土日も平日と同じ時刻に起牀しましょう”など教職員の生活の実態とかけ離れた内容の話をされる。もう少し実態に即した話をしてもらえるとより効果的だと思う。

Q. 愛知県内の新規採用の教職員で、年度内に辞めた人が22年度は18人いたと新聞で出ていたが、名古屋市の状況はどうなっているか。

A. 名古屋市の教職員では今年度はここまで0人で、22年度だと3人である。

平成23年度第5回教職員安全衛生委員会

日 時：平成24年1月11日（水）
午後3時30分から
場 所：教育委員会室

1 協議事項

(1) 平成24年度教職員健康診断実施方針（案）について
(協議資料1)

(2) 「名古屋市教職員メンタルヘルス計画（仮称）」について
(協議資料2)

2 報告事項

(1) 平成23年度衛生講話の実施状況について (報告資料1)

(2) 平成23年度安全衛生教育の開催状況について（後半分）
(報告資料2)

3 その他

<次回>

日 時：平成24年 2月15日（水）
午後3時30分から
場 所：教育委員会室（東庁舎6階）

平成24年度教職員健康診断実施方針（案）

○ 健康診断の種類

区分	検査名	対象職員
定期健康診断	血圧	全教職員（海外派遣健康診断対象者、総合検診受診者を除く。）
	尿	※新規採用の学校事務職員・栄養職員は別途健康診断を実施しているため、受
	聴力	診不要。ただし受診票兼問診票（胸部用・その他用）を後日送付するので、記入のこと。
	胸部疾患	
	心臓	①新規採用教員（学校事務職員・栄養職員は別途実施済みのため対象外）
	血液	②30歳以上の教職員 ※総合検診受診者を除く。
	二次検診	定期健康診断（聴力検査除く。）の結果、二次検診の必要を認める教職員
個別健康診断	管理健診 春期	前年度の定期健康診断・管理健診の結果、経過観察の必要を認める教職員
	秋期	胸部疾患に関する健康診断（春期）の結果、経過観察の必要を認める教職員
	二次検診	管理健診（聴力検査を除く。）の結果、二次検診の必要を認める教職員
	管理面接	定期健康診断・管理健診の結果、産業医等が面接の必要を認める教職員
	臨時健診	復職予定の休職中の教職員、その他産業医等が必要と認める教職員
特別健康診断	風疹抗体検査	新規採用女性職員のうち希望する者 <本務のみ>
	B型肝炎抗体検査	養護教諭のうち希望する者（総合検診受診者を除く。） <本務のみ>
	胃検診	40歳以上の教職員（総合検診受診者を除く。）
	大腸がん検診	40歳以上のうち希望する教職員（総合検診受診者を除く。）
	総合検診	40歳・45歳・50歳・55歳の教職員 (定期健康診断・管理健診との重複受診不可) <本務のみ>
	婦人科検診	40歳・45歳・50歳・55歳の女性教職員 <本務のみ>
	VDT業務検診	①新規採用教職員 ②1日平均4時間以上のVDT作業を行う者又は自覚症状のある者
	海外派遣健康診断	海外へ6ヶ月以上派遣され帰国した教職員

○ 定期健康診断（一次健診）

区分	対象者	検査項目
一般A	管理健診対象者以外で、 ①30歳以上の者 (40歳・45歳・50歳・55歳時の <u>総合検診受診者を除く。</u>) ②新規採用者 (学校事務・栄養職員は別途実施済みのため受診票兼問診票の提出のみ。 臨時職員等も対象外)	一般Bの検査項目に加えて、腹囲、 安静時心電図 血液検査 【白血球・赤血球・ヘモグロビン ヘマトクリット・血清鉄・尿酸・ 血糖・尿素窒素・e-GFR 総コレステロール・中性脂肪・LDH クレアチニン・GOT・GPT・ALP γ-GTP・LDLコレステロール・ HDLコレステロール】
一般B	29歳以下の者 (一般A・管理健診を除く。)	身長、体重、視力、問診、血圧、検尿(糖・蛋白)、胸部X線(間接)、聴力(オージオメーターによる1000, 4000Hz)
管理健診	管理区分のある者 (高血圧・心臓病・脳血管疾患・ 腎臓病・糖尿病・貧血・肝臓病・ 脂質異常症・尿酸・その他・胸部疾患の11区分)	一般Aの検査項目と同様 ※ただし、胸部疾患管理者は、胸部X線直接撮影とする。

○ 特別健康診断

種 別	対象教職員	実施時期	実施場所	検診等内容	検査結果
風疹抗体検査	新規採用女性教職員の希望者<本務のみ>	定期健康診断時(事務・栄養は別途)	原則学校(事務・栄養は別途)	採血による抗体価測定	教職員健康診断結果票
B型肝炎抗体検査	養護教諭の希望者 <本務のみ> (総合検診受診(予定)者を除く。)	定期健康診断時(後日ワクチン接種の場合有)	原則学校(ワクチン接種は別途指示)	採血による抗体価測定(後日ワクチン接種有)	教職員健康診断結果票
胃 検 診	40歳以上 ①現在胃の疾患で治療中又は経過観察中の者 ②胃切除をして5年以内の者 ③妊娠中又はその疑いのある者 ④人間ドック又は総合検診(下記)の受診(予定)者	夏期休業期間中	市内拠点校	胃部X線撮影	個別に通知
大腸がん検 診	40歳以上の希望者 (総合検診受診(予定)者を除く。)	・検体容器とラベルを学校へ送付 ・検体は定期健康診断時に回収		免疫学的便潜血反応検査2日法	教職員健康診断結果票
総合検診	40歳・45歳 50歳・55歳 <本務のみ> 注:受診者は、今年度の学校巡回健診(胸部・その他)は受診できません。	5月～10月末	別途通知	一般Aに準じた検査項目(胸部X線は直接撮影)、肝炎・胃・大腸がん・腹部超音波・眼底・眼圧・(骨粗しょう症(女性))の各検査、腫瘍マーカー(男性はPSA追加)	個別に通知 (定期健康診断項目、胃・大腸がん検査結果は教職員健康診断結果票にも記載)
婦人科検 診	上記のうちの女性	同 上	同 上	乳がん検査 子宮がん検査	個別に通知 (総合検診と同じ)
VDT業務検 診	①新規採用教職員 ②1日平均4時間以上VDT業務に従事する者 ③自覚症状のある者	別途、実施期間等を通知します。 一次検診の結果、産業医が必要と認めた者には指定健診機関にて二次検診を実施します。		一次:問診 二次:眼科学的検査、筋骨格系検査	個別に通知
海外派遣健康診断	海外へ6ヶ月以上派遣され、帰国した者	別途、日時・場所を通知します。 検査項目はX線直接撮影等産業医が必要と認めた検査をします。		一般Aの検査項目、糞便塗抹等	教職員健康診断結果票 (3ヶ月以内であれば次年度代行申請可)

平成23年度 衛生講話

NO.	校名	開催日	曜日	題名	参加人数
1	おりべ幼稚園	H23.6.30	木	臨床心理士による「自律訓練法」	5
2	船方小学校	H23.7.7	木	臨床心理士による「エゴグラム」	22
3	しまだ小学校	H23.9.2	金	臨床心理士による「アサーション」	18
4	八幡小学校	H23.9.8	木	臨床心理士による「アサーション」	24
5	牧野小	H23.9.22	木	臨床心理士による「エゴグラム」	21
6	大野木小学校	H23.9.29	木	臨床心理士による「積極的傾聴法」	26
7	菊里高校	H23.9.29	木	医師による「睡眠と健康」	57
8	西養護学校	H23.10.5	水	医師による「睡眠と健康」	90
9	日比野中学校	H23.10.11	火	臨床心理士による「エゴグラム」	40
10	松栄小学校	H23.10.13	木	臨床心理士による「アサーション」	32
11	神沢中学校	H23.10.13	木	臨床心理士による「積極的傾聴法」	26
12	守山小学校	H23.10.17	月	臨床心理士による「アサーション」	22
13	中根小学校	H23.10.20	木	臨床心理士による「認知行動療法」	22
14	御幸山中学校	H23.10.20	木	医師による「睡眠と健康」	32
15	若宮商業高校	H23.10.31	月	医師による「睡眠と健康」	45
16	南養護学校	H23.11.10	木	臨床心理士による「積極的傾聴法」	103
17	南陽小学校	H23.11.14	月	臨床心理士による「認知行動療法」	21
18	工業高校(定時制)	H23.11.17	木	医師による「ストレスと食事」	16
19	富田高校	H23.11.17	木	医師による「睡眠と健康」	54
20	伊勢山中	H23.11.17	木	臨床心理士による「エゴグラム」	27
21	天白養護学校	H23.11.21	月	医師による「睡眠と健康」	63
22	長良中学校	H23.11.22	火	医師による「睡眠と健康」	50
23	庄内小学校	H23.11.24	木	臨床心理士による「アサーション」	25
24	中央高校	H23.11.24	木	医師による「ストレスと食事」	61
25	桶狭間幼稚園	H23.11.28	月	臨床心理士による「自律訓練法」	7
26	桜台高校	H23.11.29	火	医師による「睡眠と健康」	50
27	西陵高校	H23.12.1	木	医師による「睡眠と健康」	45
28	名古屋商業	H23.12.1	木	医師による「ストレスと食事」	49
29	山田高校	H23.12.2	金	医師による「睡眠と健康」	27
30	米野小学校	H23.12.5	月	臨床心理士による「積極的傾聴法」	12
31	工芸高校	H23.12.6	火	医師による「睡眠と健康」	48
32	伊勝小学校	H23.12.12	月	臨床心理士による「エゴグラム」	15
33	成章小学校	H23.12.15	木	医師による「生活習慣病の予防について」	18
34	川原小学校	H23.12.19	月	臨床心理士による「エゴグラム」	28
35	笹島小・中学校	H23.12.19	月	医師による「睡眠と健康」	27
36	日吉小学校	H23.12.19	月	医師による「睡眠と健康」	17
37	平針北小学校	H24.1.12	木	臨床心理士による「認知行動療法」	
38	笠寺小学校	H24.1.16	月	臨床心理士による「アサーション」	
39	正保小学校	H24.1.16	月	医師による「睡眠と健康」	
40	飯田小学校	H24.1.16	月	医師による「睡眠と健康」	
41	大高北小学校	H24.1.19	木	医師による「生活習慣病の予防について」	
42	天白小学校	H24.1.19	木	臨床心理士による「積極的傾聴法」	
43	金城小	H24.1.19	木	臨床心理士による「認知行動療法」	
44	はとり中学校	H24.1.19	木	医師による「睡眠と健康」	
45	大森北小学校	H24.1.23	月	医師による「睡眠と健康」	
46	内山小学校	H24.1.23	月	臨床心理士による「認知行動療法」	
47	正木小学校	H24.1.26	木	医師による「睡眠と健康」	
48	篠原小学校	H24.1.30	月	臨床心理士による「積極的傾聴法」	
49	児玉小学校	H24.1.30	月	医師による「睡眠と健康」	
50	猪子石中学校	H24.1.30	月	医師による「睡眠と健康」	
51	守山養護学校	H24.2.2	木	臨床心理士による「アサーション」	
52	熊の前小学校	H24.2.2	木	医師による「睡眠と健康」	
53	老松小学校	H24.2.6	月	医師による「睡眠と健康」	
54	長根台小学校	H24.2.6	月	医師による「睡眠と健康」	
55	瀬古小学校	H24.2.9	木	臨床心理士による「アサーション」	
56	香流中学校	H24.2.23	木	医師による「ストレスと食事」	
57	御器所小学校	H24.2.27	月	医師による「睡眠と健康」	
計					1,245

平成23年度安全衛生教育等の開催状況について

1. 予防教室

名 称	開 催 日	会 場	対 象 者	講 師	参 加 者 数
予防教室①	H23.7.22 午前	スポーツ振興会館	産業医が必要と認める者	衛生管理医師・保健師・栄養士	17
予防教室②	H23.7.29 午前	スポーツ振興会館	産業医が必要と認める者	衛生管理医師・保健師・栄養士	16
予防教室③	H23.8.22 午前	スポーツ振興会館	産業医が必要と認める者	衛生管理医師・保健師・栄養士	18
予防教室 保健・運動指導	H23.12.27 午前	中スポーツセンター	①～③の出席者の希望者	保健師・トレーナー	28

※ メタボリック症候群を対象に実施

2. 健康教室

名 称	開 催 日	会 場	対 象 者	講 師	参 加 者 数
教職員のメンタルヘルス	H23.7.21 午後	中区役所ホール	希望者	衛生管理医師 岩田仲生氏	277
教職員のメンタルヘルス	H23.8.23 午後	鯉城ホール	希望者	中京大学教授 湯浅景元氏	509
教職員のメンタルヘルス	H23.8.26 午前	鯉城ホール	希望者	愛知学院大学教授 高木浩人氏	222
歯の健康教室	H23.8.1 午後	鯉城ホール	希望者	愛知学院大学教授 中垣晴男氏 准教授 高阪利美氏	176
女性の健康教室	H23.7.26 午後	教育センター	女性教職員の希望者	産婦人科医師 小栗明子氏	317
女性の健康教室	H23.8.2 午前	教育センター	女性教職員の希望者	名古屋市立大学大学院准教授 遠山聰也氏	242
参 加 型	教職員のメンタルヘルス	H23.8.8 午後	スポーツ振興会館	希望者(定員あり)	臨床心理士 坂田鏡子氏
	タバコの健康教室	H23.7.27 午前	スポーツ振興会館	希望者(定員あり)	トヨタ記念病院医師 磯村毅氏
	栄養の健康教室	H23.8.8 午前	スポーツ振興会館	希望者(定員あり)	愛知学院大学教授 酒井映子氏 栄養士
年 齢 別	ナイスミドル教室(58歳)	H24.1.17 午後	中スポーツセンター	年度末で58歳の教職員	歯科衛生士、保健師、トレーナー
	ナイスミドル教室(58歳)	H24.1.27 午後	中スポーツセンター	年度末で58歳の教職員	歯科衛生士、保健師、トレーナー
	グリーン教室(30歳)	H23.12.27 午後	中スポーツセンター	年度末で30歳の教職員	栄養士、保健師、トレーナー
					30

3. 研修及び安全衛生セミナー

名 称	開 催 日	会 場	対 象 者	講 師	参 加 者 数
管理監督者のための メンタルヘルス研修	(基礎編) H23.8.4 午後	スポーツ振興会館	校(園)長の希望者	臨床心理士 石川佐千子氏	97
	(事例編) H23.8.19 午後	スポーツ振興会館		上級心理カウンセラー 山本克英氏	93
管理監督者のための メンタルヘルス研修	(基礎編) H23.8.5 午後	スポーツ振興会館	教頭の希望者	臨床心理士 小林志穂氏	119
	(事例編) H23.8.18 午後	スポーツ振興会館		衛生管理医師 山内正美氏	131
衛生管理(担当)者研修	H23.7.29 午後	女性会館	養護教諭・幼稚園主任の希望者	衛生管理医師 渡邊美寿津氏	171
教務主任セミナー	H23.8.9 午後	女性会館	教務主任の希望者	上級心理カウンセラー 山本克英氏	96

平成23年度 夏季休業中の相談の実施状況

(単位 人)

実施日	会 場	臨床心理士	参加人数
7月21日(木)	東生涯学習センター	石川 佐千子	3
7月28日(木)	教職員課分室	小林 志穂	1
8月18日(木)	教職員課分室	坂田 鏡子	0
8月25日(木)	女性会館	小林 志穂	1
8月29日(月)	教職員課分室	竹内 陽子	1
合 計	5カ所		6

平成23年度第5回教職員安全衛生委員会議事録

日時：平成24年1月11日(水)

時間：15:30～16:30

場所：教育委員会室

出席委員：13名（森、小林、廣瀬、角谷、本田、原田、柴田、久保、竹田、古橋、田中、加藤（真）、水谷）

1 協議事項

- (1) 平成24年度教職員健康診断実施方針（案）について
⇒ 原案「協議資料1」了承

- (2) 「名古屋市教職員メンタルヘルス計画（仮称）」について
⇒ 原案「協議資料2」了承

2 報告事項

- (1) 平成23年度衛生講話の実施状況について
⇒ 原案「報告資料1」了承
- (2) 平成23年度安全衛生教育の開催状況（後半分）について
⇒ 原案「報告資料2」了承

3 その他

- 夏季休業中の相談事業について
第3回教職員安全衛生委員会に提出した資料の訂正

[質 疑 等]

要望 今年度総合検診の対象者を拡大してもらったことは大変良かった。しかし、夏休みに受診希望が集中し、希望日に予約がとれなかった人が多数いたと聞いている。来年度も同様のことが想定されるので、夏休みに対応できる受診機関の確保をしっかりとお願ひしたい。

A. 総合検診は来年度も入札で行う予定のため、どこの健診機関に委託することになるかわからない。しかし、夏休みに希望が集中することはこちらも重々承知しているので、それにちゃんと対応できるよう調整をしていく。

Q. メンタルヘルス計画の冊子の4ページの計画目標について、前回の安全衛生委員会での議論から数字目標をなくしたようであるが、今設定されている目標は、目標というよりも、結果的に休職者数の減少等を目指すための手立てであるような印象を受ける。名古屋市の他局や他都市の計画目標はどのようにになっているか。

A. 名古屋市の他局は“前年度より休職者数を減少させる”などの数字目標を掲げているところが多い。地方公共団体は数字目標のところはほとんどなく、「雰囲気づくり」「職員と職場の健康をつくる」などである。

Q. 4ページの表にある平成22年度の病気休職者数は118人で、5ページの表では123人であるが、この違いは何か。

A. 4ページの方は教員数であり、5ページの方は教職員数である。統一されていないので書き方を工夫する。

Q. 7ページの「校種による休職者の状況」のところには小学校と中学校に関する記述しかないが、他の校種のことは書かないのか。

A. こここの記述は分室へ寄せられた相談実績から分析して書いたものであるが、小学校と中学校以外は件数が少ないので記載していない。

要望 8ページから9ページの「校種や職種による特徴」の中で、一人職種についてもちゃんと触れていて大変良いと思う。せっかくストレスチェックをやっているのだから、その分析とまではいかなくても、職種ごとの傾向等を出してここに載せると良いのではないか。

A. 「校種や職種による特徴」のところは、平成21年度に実施したストレスチ

エックの分析を基に書いている。この年の調査は対象者が全員ではなく、抽出して実施したものではあるが、一定の分析は行われている。

意見 ここに書かれている各校種・職種の特徴が、一人一人の認識とは違っている恐れがあると思う。

A. 一応それぞれの傾向として出ているものなので、本人は認識がなくても、何らか気を付けるべき点として見てもらいたい。

意見 11ページの表について、“セルフケア”や”ラインによるケア“といった表現があるが、対象者が誰なのかがわかりづらい。誰がどこに該当して何をすればよいのか一目見てわかるような表にしてほしい。

Q. 12ページに“仕事のストレス判定図の利用”とあるが、具体的にどのようなことを考えているか。

A. 今年度高校の校長先生を対象に、仕事のストレス判定図を利用した研修を行う予定である。

Q. 他の校種では行わないのか。

A. まず高校で実施してみて、その結果を見て考えていく。

Q. 13ページと14ページに“メンタル疾患での治療中で職務に配慮が必要な場合や療養休暇が1ヶ月以上になる場合に、健康管理スタッフと連絡をとって産業医・衛生管理医師の面接を勧める”とあるがどういうことか。

A. これまで休職に入る前段階の長期療養の人の情報を把握できるシステムになっていたいなかった。休職に至る前段階の長期療養の把握は大切なことであると教育委員会の医師の方々からご指摘をいただいた。例えば療養休暇が1ヶ月以上になるような人が出てきた場合に、学校から分室に連絡を入れてもらえると、その人の状況にあわせた面接相談等を適宜実施して早い段階での対応ができると思う。

Q. 15ページに“復職支援非常勤講師の活用を検討”とあるが、実際に活用されている事例はあるのか。あればその効果や問題点など何か聞いているか。

A. 現在把握しているところでは、京都府、京都市、福岡市で活用していると聞いている。福岡市は活用を始めて5年目前後だが、ほとんどの学校が活用を希望してくるとのことである。一部ではあるが、途中で短期間講師が入ってくる

ことについて、生徒や他の教員との短期間の新たな人間関係の構築を気づかい活用を希望しない学校もあるという話である。

名古屋市で実施するためには、当然予算が必要なこともあるが、支援講師を配置することが本当に本人のスムーズな復帰のためになるのかという意見もあることから、まだまだ検討を重ねる必要があると考えている。

意見 せっかく計画をつくっても、管理職や一部の教員のみが冊子を持っているようではもったいない。全員が持ち、必要なときすぐに見られるような簡略な、例えばカラー刷りのチラシのようなものがあると良いのではないか。

(小林産業医より)

“セルフケア”や“ラインによるケア”といった表現はやや教科書的な印象を受ける。名古屋市の計画は“職員自身のやるべきこと”“管理監督者のやるべきこと”というような表現ではなかったか。もう少しわかりやすい表現にした方が良いと思う。

(小林産業医より)

衛生講話は、以前は講師が話をするだけのものだったので、近年はなるべく実践的なものを取り入れるようにしてきた。今年度は新テーマとして「睡眠と健康」を実施している。これからさらに内容を充実させていきたいので、率直なご意見をいただきたい。

衛生講話は各職場の方に集まって話をさせてもらえる機会なので、一人一人の知識を深めたり健康を増進したりするだけでなく、職場全体の健康を深められるような内容を考えていきたい。

要望 30歳グリーン教室に参加した人から大変良い内容だったと聞いた。しかし、今回のような日程では、対象になる若い教員はほとんど部活指導があり参加できない。来年度以降はもっと参加しやすい日程をお願いしたい。

A. 皆さんのが参加しやすい冬休み、また、会場と講師の都合でこの日とした。しかし、来年度以降もさらに皆さんのが参加しやすい日程を考えていく。

平成23年度第6回教職員安全衛生委員会

日 時：平成24年2月15日（水）
午後3時30分から
場 所：教育委員会室

1 協議事項

(1) 平成24年度教職員安全衛生事業実施方針（案）について
(協議資料1)

(2) 「名古屋市教職員いきいき心の健康づくり計画（仮称）」について
(協議資料2)

2 報告事項

(1) 平成23年度安全衛生教育の開催状況について（後半分）
(報告資料1)

(2) 平成23年度職場巡視の実施状況について
(報告資料2)

3 その他

平成24年度教職員安全衛生事業実施方針（案）

1 健康診断

(1) 定期健康診断

4月から9月までの期間内に実施。必要に応じて二次健診を実施する。

身長・体重の測定を実施する。（午後の健診は原則行わない）

（代行受診は9月末までの申請）

特定健康診査に関する項目については、健診結果等を保険事業者（公立学校共済組合愛知支部）へ情報提供している。

(2) 個別健康診断

管理健診、管理面接、臨時健診を実施

(3) 特別健康診断

下記の一覧の事項について実施する。

種 別	実 施 時 期	対 象 者
胃 検 診	夏季休業期間中	40歳以上(総合検診受診者除く。)
大腸がん検診	定期健康診断時	40歳以上希望者(総合検診受診者除く。)
B型肝炎抗体検査	〃	養護教諭の希望者(総合検診受診者除く。)
風しん抗体検査	〃	新規採用女性教職員の希望者 (総合検診受診者除く。)
海外派遣健康診断	帰 国 後	日本人学校からの帰国者
VDT業務検診	2学期中	1日4時間以上のVDT作業従事者等
総 合 検 診	春季～秋季	40, 45, 50, 55歳
婦 人 科 検 診	春季～秋季	40, 45, 50, 55歳の女性

2 保健指導等

(1) 健康診断結果に基づく指導

産業医が必要と認める者に対して、産業医（衛生管理医師又は臨床心理士）が医療・生活面等に関して面接指導を行うとともに、併せて保健師による保健指導と栄養士による栄養指導を行う。

(2) 臨時健診

復職を希望している休職中の教職員、その他産業医が必要と認める者に対して、産業医（衛生管理医師又は臨床心理士）により面接指導を行う。

また、復職後のフォローのために行っている衛生管理医師との面接までの期間中において、保健師が電話等によるフォローを適宜行う。

(3) 健康相談等

ア 教職員課分室（スポーツ振興会館3F）において、保健師がからだや心の悩みなどについて常時相談に応じる。なお、産業医が必要と認める者に対して産業医等が面接指導を行う。

イ 毎月1回予約制にて臨床心理士による面接相談を実施する。

ウ その他、保健師によるメール相談などを実施する。

エ 夏季休業期間中の健康相談を実施する。

3 安全衛生教育等

(1) 衛生講話

希望校において産業医等により講話をを行う。

(2) 予防教室

健康診断結果に基づき産業医が必要と認める者を対象として、保健指導、栄養指導及び運動指導を行う。

(3) 健康教室

健康づくりの参考としていただくため各種テーマを設定し開催する。

ア 多数を対象とした講演会など

(ア) メンタルヘルス

夏季休業期間中に講演会等を実施する。

(イ) 歯の健康教室

夏季休業期間中に実施する。

(ウ) 女性を対象とした健康教室

女性のうちの希望者を対象に、夏季休業期間中に実施する。

イ 定点の健康増進教室など

(ア) 30歳のうちの希望者を対象に、冬季に講演と実技を実施する。

(イ) 58歳のうちの希望者を対象に、冬季に講演と実技を実施する。

(4) 安全衛生セミナー

ア 職種別にテーマや対象者を絞り込んだセミナーを順次企画し休業期間中に実施する。

イ 衛生管理(担当)者を対象に、夏季休業期間中に実施する。

(5) 管理監督者のためのメンタルヘルス研修（講演と事例検討等）

・校（園）長対象 2回

・教頭対象 2回

（教育センターと共に研修として実施する。）

(6) その他

機会を捉えて産業医等を講師として研修等を実施する。

4 職場巡視

学校（園）の作業環境等を確認し、必要に応じて指導・助言する。

5 啓発事業

「教職員安全衛生だより」をメールにより各校（園）に配信し、健康に関する啓発や情報提供、健康教室等の案内を行う。

健康相談を始めとする相談事業についても、「教職員安全衛生だより」等で、隨時折りにふれて紹介していく。

平成23年度安全衛生教育等の開催状況について

1. 予防教室

名 称	開 催 日	会 場	対 象 者	講 師	参加者数
予防教室①	H23.7.22 午前	スポーツ振興会館	産業医が必要と認める者	衛生管理医師・保健師・栄養士	17
予防教室②	H23.7.29 午前	スポーツ振興会館	産業医が必要と認める者	衛生管理医師・保健師・栄養士	16
予防教室③	H23.8.22 午前	スポーツ振興会館	産業医が必要と認める者	衛生管理医師・保健師・栄養士	18
予防教室 保健・運動指導	H23.12.27 午前	中スポーツセンター	①～③の出席者の希望者	保健師・トレーナー	28

※ メタボリック症候群を対象に実施

2. 健康教室

名 称	開 催 日	会 場	対 象 者	講 師	参加者数
教職員のメンタルヘルス	H23.7.21 午後	中区役所ホール	希望者	衛生管理医師 岩田仲生氏	277
教職員のメンタルヘルス	H23.8.23 午後	鯉城ホール	希望者	中京大学教授 湯浅景元氏	509
教職員のメンタルヘルス	H23.8.26 午前	鯉城ホール	希望者	愛知学院大学教授 高木浩人氏	222
歯の健康教室	H23.8.1 午後	鯉城ホール	希望者	愛知学院大学教授 中垣晴男氏 准教授 高阪利美氏	176
女性の健康教室	H23.7.26 午後	教育センター	女性教職員の希望者	産婦人科医師 小栗明子氏	317
女性の健康教室	H23.8.2 午前	教育センター	女性教職員の希望者	名古屋市立大学大学院准教授 遠山竜也氏	242
参 加 型	教職員のメンタルヘルス	H23.8.8 午後	スポーツ振興会館	希望者(定員あり)	臨床心理士 坂田鏡子氏
	タバコの健康教室	H23.7.27 午前	スポーツ振興会館	希望者(定員あり)	トヨタ記念病院医師 磐村毅氏
	栄養の健康教室	H23.8.8 午前	スポーツ振興会館	希望者(定員あり)	愛知学院大学教授 酒井映子氏 栄養士
年 齢 別	ナイスミドル教室(58歳)	H24.1.17 午後	中スポーツセンター	年度末で58歳の教職員	歯科衛生士、保健師、トレーナー
	ナイスミドル教室(58歳)	H24.1.27 午後	中スポーツセンター	年度末で58歳の教職員	歯科衛生士、保健師、トレーナー
	グリーン教室(30歳)	H23.12.27 午後	中スポーツセンター	年度末で30歳の教職員	栄養士、保健師、トレーナー

3. 研修及び安全衛生セミナー

名 称	開 催 日	会 場	対 象 者	講 師	参加者数
管理監督者のためのメンタルヘルス研修	(基礎編)	H23.8.4 午後	スポーツ振興会館	校(園)長の希望者	臨床心理士 石川佐千子氏
	(事例編)	H23.8.19 午後	スポーツ振興会館		上級心理カウンセラー 山本克英氏
管理監督者のためのメンタルヘルス研修	(基礎編)	H23.8.5 午後	スポーツ振興会館	教頭の希望者	臨床心理士 小林志穂氏
	(事例編)	H23.8.18 午後	スポーツ振興会館		衛生管理医師 山内正美氏
職場のストレス対策セミナー	H24.2.8 午前	教育館	高等学校長	産業医 小林章雄氏	13
衛生管理(担当)者研修	H23.7.29 午後	女性会館	委託教習・幼稚園主任の希望者	衛生管理医師 渡邊美寿津氏	171
教務主任セミナー	H23.8.9 午後	女性会館	教務主任の希望者	上級心理カウンセラー 山本克英氏	96

平成23年度 職場巡視

No.	校名	実施年月日			
		年	月	日	曜
1	川原小学校	23	10	20	木
2	稻生小学校	23	10	21	金
3	山田東中学校	23	10	21	金
4	東白壁小学校	23	11	2	水
5	山吹小学校	23	11	2	水
6	南養護学校	23	11	4	金
7	沢上中学校	23	11	4	金
8	大磯小学校	23	11	8	火
9	宝南小学校	23	11	8	火
10	春岡小学校	23	11	11	金
11	吹上幼稚園	23	11	11	金
12	正色小学校	23	11	17	木
13	大野木小学校	23	12	2	金
14	西中島小学校	23	12	6	火
15	中島小学校	23	12	6	火
16	鳴子台中学校	23	12	8	木
17	鳴子小学校	23	12	8	木
18	豊臣小学校	23	12	9	金
19	柳小学校	23	12	9	金
20	高田小学校	23	12	9	金
21	堀田小学校	23	12	9	金
22	本地丘小学校	23	12	13	火
23	森孝東小学校	23	12	13	火
24	牧の原小学校	23	12	13	火
25	天白小学校	23	12	13	火
26	神宮寺小学校	23	12	15	木
27	八王子中学校	23	12	20	火
28	中央高等学校	23	12	20	火
29	前山小学校	23	12	27	火
30	高針小学校	23	12	27	火
31	飯田小学校	24	1	16	月
32	星崎小学校	24	1	19	木
33	平和が丘小学校	24	1	30	月
34	栄生小学校	24	1	31	火
35	南押切小学校	24	1	31	火
36	田代小学校	24	2	3	金
37	広路小学校	24	2	3	金
38	長根台小学校	24	2	6	月

巡視者……産業医または衛生管理医師、及び教職員課職員の2名

平成23年度 職場巡視結果報告

(平成24年2月15日現在)

1 総評

今年度、巡視を実施した学校（園）について、全体的に作業環境は良好でした

2 主な指摘事項等

（1）職員室について

- ・パソコン収納台や書類棚の活用により、机上がすっきりと片付いていた
- ・机の上、通路などの整理整頓、書類棚の転倒防止が適切に行われていた
- ・一部、棚の内部が整理整頓されていないところもあった
- ・裁断機の鍵が差したままになっていた

（2）VDT作業環境について

- ・天候等により照度がやや不足するような場合は、小型の部分照明などの利用も有効である
- ・晴天時の窓際でのパソコン使用の際は、ブラインド等を活用し、照度が過剰にならないように注意すること
- ・パソコンのモニターが高い位置に置かれており、使用者によっては画面を見上げる格好になるため、設置位置の検討が必要

（3）各準備室について （理科・家庭科・金木工・美術・図工など）

- ・薬品が台帳管理の上、保管庫で適切に保管されていた
- ・刃物が鍵付き保管庫で適切に保管されていた
- ・棚の上部に重量のある器具が置かれており、落下すると危険である
- ・刃物が床に放置されているなど、整理が不足している
- ・床面に滑りやすい箇所があるので注意が必要
- ・扉のない棚に瓶が収納されており、飛び出すと危険である
- ・出入口を物品で塞がないようにすること

(4) 休養室・更衣室について

- ・ソファー、机、鏡の設定など、空間づくりにおいて他校の参考となる
- ・衣類等が収まりきらず、扉が開いたままのロッカーがあるが、不要なものは整理に努めること
- ・通路が収納スペースを兼ねており、狭くなっている
- ・可能な範囲でロッカーの固定の検討を

(5) 倉庫について

- ・入口がロッカーで塞がれている

(6) その他

- ・収納の仕方を図や写真で示して、わかりやすく工夫してある
- ・担架やAEDを廊下に設置し、緊急時に保健室が施錠されても対応できるようになっている
- ・廊下にも物を置かざるを得ない場合は、範囲を区切ってしまった方が良い
- ・掛け時計が立てかけてあるだけなので、固定が必要

3 職場巡回終了後の改善確認

巡回時の指摘事項については、基本的に次の方法により改善確認を行っています

- (1) 巡視の場で改善いただく
- (2) 後日、改善結果を電話にて確認する
- (3) 予算措置が必要なことは、計画的に改善していただく

平成23年度第6回教職員安全衛生委員会議事録

日時：平成24年2月15日（水）

時間：15:30～16:30

場所：教育委員会室

出席委員：10名（森、小林、廣瀬、角谷、加藤（智）、柴田、竹田、古橋、田中、
加藤（真））

1 協議事項

- (1) 平成24年度教職員安全衛生事業実施方針（案）について
⇒ 原案「協議資料1」了承

- (2) 「名古屋市教職員いきいき心の健康づくり計画（仮称）」について
⇒ 原案「協議資料2」了承

2 報告事項

- (1) 平成23年度安全衛生教育の開催状況（後半分）について
⇒ 原案「報告資料1」了承

- (2) 平成23年度職場巡視の実施状況について
⇒ 原案「報告資料2」了承

3 その他

- 健康教室（冬季開催分）の資料配布

[質 疑 等]

Q. 心の健康づくり計画の8ページに書かれている「精神疾患発症要因となった主なストレス」について、小・中学校の教職員だと異校種への異動によるストレスもある。例えば異校種間の異動があった教職員に対して異動から6ヶ月後に希望者には面接相談を行うなどの支援ができないか。

A. 異動者への対策は特に重要だと考えているが、どのような形で関わっていくかはまた検討する。

Q. 8ページの「校種による休職者の状況」について、若い人の休職も多いというように読み取れるが、初任者研修や5年目研修などの際にメンタルヘルスに関する講話や相談窓口の案内などができるないか。

A. いずれも教育センターの研修であり、研修内容も時間いっぱいに詰まっていると思うが、何らかの形で時間をもらえないか一度要望はしてみる。

要望 以前にも要望を出したと思うが、周囲に不調が疑われる人がいるときの対応のQ&Aのようなものをつくってほしい。

また、パワハラに関することも計画のどこかに盛り込めないか。パワハラをしている本人が自覚していないケースも多いし、深刻な事態につながりうると思う。

Q. 今年度中に計画を策定とのことであるが、今後のスケジュールは。

A. 3月の教育委員会に協議題として提出し、3月の終わりに策定予定である。教職員安全衛生委員会は今日が今年度最後であるが、今日の意見も含め、修正したものはまたお送りして見てもらえるようにする。

Q. 策定後も計画の変更は可能か。

A. 策定したらこれが絶対というものではない。18ページに簡単に今後の予定を載せてあるが、その都度検証して、柔軟にやるべきことを考えていく。

Q. 計画策定後の周知の方法はどのように考えているか。

A. 冊子にして各校に複数配布する予定である。

要望 本当に重要なところだけ抜粋して全員に配れるようなものをつくりほしい。例えばA4両面1枚に相談窓口の案内を載せたりすれば、みんなに有効利用してもらえると思う。

(小林産業医より)

計画の案を毎回この場で見せてもらっているが、各方面からの意見を取り入れ、少しずつ良くなってきてていると思う。ただ、計画だけにとらわれずに、事業全体の見直しの中で、ニーズを的確に捉えて本当に必要とされる対策を進めていくことが大切である。

Q. 今年度は夏に参加型の健康教室があったが、来年度もあるのか。

A. 来年度も同様にと考えている。

Q. 2月に高等学校長を対象に行われた職場のストレス対策セミナーの内容は。

(小林産業医より)

高校教職員を対象に行ったストレスチェックの結果をもとに作成した職場のストレス判定図を活用し、職場環境の改善の方策について演習を交えてセミナーを行った。

はじめに職場のストレス判定図を活用することの意義や留意点について説明し、民間企業で使われている職場環境改善のためのヒント集を用いながら、各職場で改善のために取り組んでいる点、今後取り組んでいく上でのスローガンをそれぞれ発表してもらった。

今回は初めてのセミナーということで導入部分を重点的に実施したが、より実効性のあるものにするためには、もっと時間をかけて研修をする必要がある。

要望 職場巡視について、高校はすべて巡視し終わったと思うが、高校特有の問題もあるので、来年度以降も年に最低1校は高校を回るようにしてほしい。

Q. 職場巡視の結果はどのように還元しているか。

A. 每年初夏に衛生管理業務概要というものを全校にメール配信しており、その中で指摘事項や良かった点などの紹介をしている。

(小林産業医より)

今年度も職場巡視でいくつかの学校を回ったが、作業環境がそれほど悪いところはなかった。どこも小さな整理や改善を重ねて職場環境改善の努力をされていることがよくわかった。職場の人間関係などの人的環境についても、巡視の際に話を聞いているが、メンタルヘルス対策を進めるにあたって大変参考になることが多かった。今後も続けていきたい。